

ジェイアールバス関東株式会社 健康経営アクションプラン

■ 健康経営宣言

ジェイアールバス関東株式会社は、JR東日本グループの一員として、「安全」を経営の最重要課題と位置付けています。

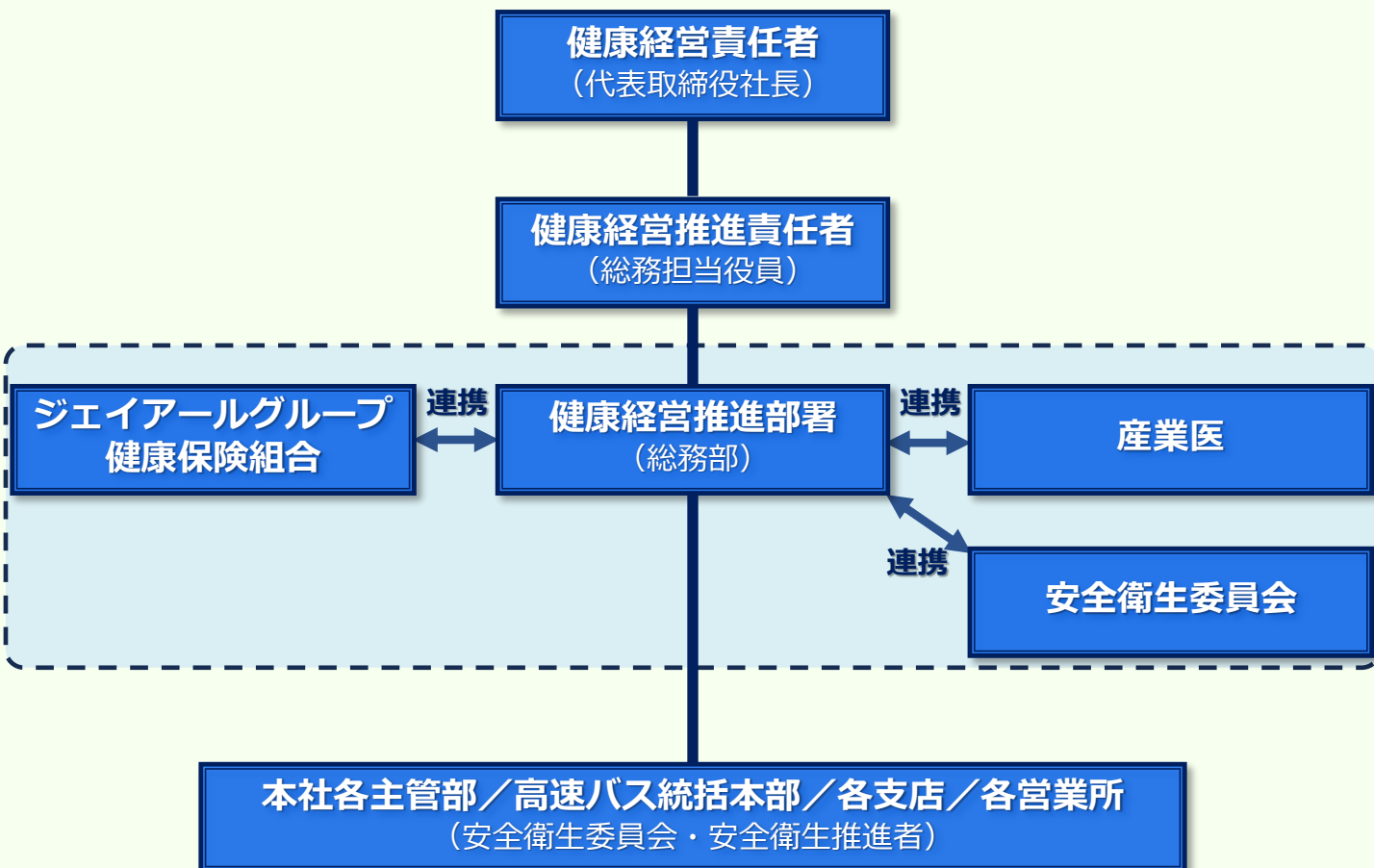
安全で信頼されるバス輸送サービスの提供は、社員一人ひとりの心身の健康によって支えられていると考え、健康の維持・増進を重要な経営課題として推進します。

当社は、社員一人ひとりを健康づくりの主役とし、健康管理の実践、生活習慣病予防、メンタルヘルス対策、働きやすい職場環境の整備に取り組み、社員とその家族が心身ともに健康でいきいきと活躍できる職場づくりを進めます。

これからも社員の健康を企業の成長と安全運行の基盤と位置づけ、組織と社員が一体となって健康経営を推進し、社員と家族の幸福の実現と、地域社会から信頼される企業としての持続的な成長を目指してまいります。

ジェイアールバス関東株式会社
代表取締役社長 小堀 隆一

■ 健康経営推進体制



■健康経営推進への具体的な取り組み

①安全・安心な輸送サービス提供への取り組み

◆健康診断・ストレスチェックの実施

当社では、年1回定期健康診断を全員受診し、深夜帯業務従事者には指定業務健診を実施しています。健診後は、産業医や保健師によるフォローアップも積極的に行っています。

◆人間ドック受診の奨励

ジェイアールグループ健康保険組合と連携し、少額の自己負担で人間ドックを受診できる費用補助を社員と社員の配偶者を含めて行っています。あわせて、会社の共済会でも人間ドック受診者に対する費用補助を行い、社員の人間ドック受診を奨励しています。

◆脳MRI検査・心疾患検査・SAS検査の実施

運転士の運転中の健康起因による重大事故防止対策として、意識消失につながる可能性のある脳疾患、心疾患、睡眠時無呼吸症候群について、スクリーニング検査及び費用補助を実施しています。

◆健康アプリの導入

生活習慣病予防、食生活改善、運動習慣の定着、メンタルヘルス等に関する健康情報を配信し、社員のヘルスリテラシー向上を図っています。あわせて、定期的にウォーキングイベント等を実施し、日常的な運動習慣の定着を推進しています。

②こころの健康増進に向けた取り組み

◆ストレスチェックの実施

メンタルヘルスクアとしてストレスチェック診断を実施しています。

◆心の健康づくり計画の策定

心の健康づくり計画を策定し、メンタルヘルスに関する教育・研修を定期的に行っています。

◆外部相談窓口の設置

ジェイアールグループ健康保険組合や産業医と連携し、24時間365日相談できる体制を構築しています。

③ワークライフバランス推進に向けた取り組み

◆多様な働き方の推進（本社）

フレックスタイム制度、テレワーク勤務やフリーアドレスなどを導入し、多様な働き方を推進しています。

◆育児・介護との両立推進

育児・介護短時間勤務制度（育児は小学校6年生まで）等により、育児・介護に従事する社員をサポートします。

■重点的に取り組む項目（数値目標・定性目標）

「JR東日本グループ健康ビジョン2029」で設定したグループ全体の目標達成に向けて、以下の項目に重点的に取り組みます。

数値目標

1日1時間以上
歩行する人の割合 **80%以上**
年4回のウォーキングイベントに参加します。

定期健康診断受診率 **100%**
定期健康診断受診の重要性を再周知します。

ストレスチェック受験率 **95%以上**
メンタル不調の未然予防に努めます。

定性目標

血圧・血糖等健康リスクの理解
健康起因の事故防止のため生活習慣病に関する正しい知識を身につけます。

バランスの良い食生活
健康アプリによるカロリー計算や、食事に関する情報を提供します。

精密検査受診
未受診者への声かけを強化し、病気の早期発見と重症化予防に努めます。